

令和元年度第1回公立大学法人福知山公立大学評価委員会 議事録概要

1 日時 令和元年7月4日(木)13:00～16:00

2 場所 市民交流プラザふくちやま 視聴覚室

3 出席者

委員	青山委員長、大久保委員長職務代理、菊田委員、中井委員、細見委員
福知山市	大橋市長、渡辺室長、岸本課長、井上係長、倉主事
福知山公立大学	井口学長、富野副学長、山本事務局長、竹友事務局次長、外賀AM、矢野

4 会議概要

	議題・報告事項	内容
1	【議題(1)】 令和元年度公立大学法人福知山公立大学の業務の実績に関する評価方針について	事務局から【資料1、2、3、4、7-1、7-2、9】により説明。
2	【議題(2)】 平成30年度公立大学法人福知山公立大学業務実績評価について	福知山公立大学から【資料6】により概要説明。
3	【報告事項(1)】 平成30年度公立大学法人福知山公立大学財務諸表等について	福知山公立大学から【資料12、13】により概要報告。
4	【報告事項(2)】 公立大学法人福知山公立大学役員報酬額の変更について	事務局から【資料14、15、16、17】により概要報告。
5	意見交換・質疑等	(主な意見) 【議題(2)】 ■年度計画では、課題があつて、数値があつて、できたか・できないかを清々しく評価できるのが一番良いと思う。何でも書くべきではない。 ■北近畿地域出身の方々を増やす努力をこれからはもっていただきたいが、今後外から入ってきていることを逆に評価する視点もあつても良いのではないかと。全国から学生が集まってきたこと

		<p>は大きな強みではないかと思う。今後の評価委員会の中で議論していきたい。</p> <p>■報告書の中で、シラバスのチェックについて書かれていたが、シラバスを数十科目見せていただいた。よくできているが、「評価基準」のところが一番できていなかった。「評価基準」を明確に持つことで「内部の質保障」に繋がっていくので、新学部ができる前に福知山公立大学スタンダードを確立していただきたいと思う。</p> <p>■地域連携は言い出したらキリがないくらい様々なことをやっている。ここまできちんとやっていくのは先生方も大変だが、事務局も先生方に協力して、様々な連携体制をとられていると推察する。しかし、働きすぎになっていないかをチェックしたいと思う。</p> <p>【報告事項（２）】</p> <p>■今の理事長・副学長のご活躍からすると低いのが率直な感想。長い目で将来を考えた時にどういふ方が理事長になるか分からない中で、大学内で適切に判断していただきたい。</p> <p>■資料 14 の④に期末手当があるが、年収ベースで見た時にまだ差があるのではないかと気になるので、他の法人も賞与にあたるどころが同じ水準なのか情報をいただきたい。</p>
--	--	---

5 次第

- (1) 開会挨拶 青山委員長
- (2) 市長挨拶 大橋市長
- (3) 議題（１）：令和元年度公立大学法人福知山公立大学の業務の実績に関する評価方針について（⇒は事務局回答）

【資料 1、2、3、4、7-1、7-2、9】により評価方針、業務実績評価の進め方を説明。

【資料 10、11】により財務諸表の承認手続きを説明。

(委員)

- 評価委員は質問があるときは、7月11日までに大学政策課に提出し、大学は7月19日までに質問に対する回答を大学政策課に提出するということで問題ないか。
⇒問題ない。

(4) 議題(2): 平成30年度公立大学法人福知山公立大学業務実績評価について
福知山公立大学ヒアリング (⇒は大学回答)

(青山委員長)

ただいまから福知山公立大学へのヒアリングを開始する。

まずは、大学より業務実績報告書について、概要説明をお願いしたい。

大学より【資料6】業務実績報告書により概要説明

(委員)

- 完成年度を迎えられ、開学以来の苦労の成果がこの報告書に記載されている。
- パンフレットを見たが、学生・教員がいきいき載っていて、本当に良い大学になっていることをパンフレット等通じて、今年が一番感じ取ることができる。
- 昨年、項目が多すぎたのもう少しまとめた方が良いということがあったが、今年度の業務実績報告書は、昨年度より50項目減って、随分見やすくなった。
- 募集活動は、1000校以上、少ない職員で回られているのは大きく評価に値する。
- 地域からの志願者の確保というのは内部の体質の問題として、大きな課題として残ると思うが、学生募集はしっかりできている。
- FD・SDも忙しい中、FDでは全教員が参加されていることが数字から感じ取れる。SDについても職員の皆さんも7回くらいされている。
- 公立化前に入学した学生の支援も苦労が多かったと思うが、100%の就職率と、指導されているのも良かった。
- 看板で掲げられている地域連携・地域協働は、福知山公立大学の心臓部であると思うが、引き続き成果を上げられている。
- 施設も徐々に限られた予算の中で充実を図られている。
- 年度計画の文言が違うのに、全く同じコピーの再掲があるというのは違うと感じる。31年度以降の年度計画を立てるにあたって、細分化された年度計画は、大括りにして、成果として書けるところだけ書くということをした方がいいと感じた。
- 例えば、**小項目10**では、FDは、(1)～(20)まであって、立派だが、ここの中期計画は教育の手法ということなので AED 講習とか避難訓練とか入っているのは違和感がある。
- 年度計画では、課題があって、数値があって、できたか・できないかを清々しく評価できるのが一番良いと思う。何でも書くべきではない。
- **小項目32**
施設利用は30件、4000冊等々を全てクリアして「4」。このように明確に「4」がつくのが、誰が見ても疑いの余地がない。

- **小項目 35**
応募率 100%、採択率 30%と目標を定め、応募率 100%は達成だが、採択率は達成しなかったので、「3」というのも分かりやすい。
- **小項目 37**
一方で、「小項目 37」では、学内研究費の配分について、均等に配分したことは書いているが、重点的な配分を行うという計画に対する回答がなく、関係がないであろう（再掲 28）が載っている。
- どうしても気になったところは、質問表で投げかけるが、まず計画の立て方を個人的な意見としてももう少しスリムにできるのではないか。そして、計画の立て方を評価のしやすい指標を下にやっていただきたい。
- 昨年の評価委員会で「4」の評価を「3」に下げたり、「3」の評価を「2」に下げたり、厳しめの評価だったので、法人の方でも自ら厳しく評価されたところが見受けられるが、私としては評価を上げるポイントをたくさん見つけているので、評価委員会の中で議論したいと思う。「3」を「2」に下げるより、「3」を「4」に上げるところが多いと見受けられる。

（委員）

- 大学設立の厳しい状況の中で、4年目を迎え、一定受験倍率を残して、志願者の確保という点では、成果が出ていて、少ない職員でよく頑張っていると敬意を表したい。
- 一方で、大学の設立の基本理念の「北近畿地域の持続可能な地域社会の形成と地方創生に寄与する」という理念があり、地域出身の方は、その地域にとどまる可能性が高いと思うので、北近畿地域からより多くの高校生を入学できるように取り組んでいただきたいが、その人数が伸びていないことは残念である。
- この4年間、募集活動の成果として、福知山市及びその福知山市を含む北近畿、三たん地域の実態を年度毎に掴んでいると思う。また、この3月の就職の実績として19人中6人が北近畿地域に就職したということだが、これを今後は上げていくことになると思う。そのため、三たん地域や北近畿地域の入学者数や就職者数のデータを見たい。
⇒資料は2017年からどのような推移を辿ったか等を整理して持っているので事務局を通じて、提出する。

（委員）

- 北近畿地域出身の方々を増やす努力をこれからもしていただきたいが、今後外から入ってきていることを逆に評価する視点もあっても良いのではないか。全国から学生が集まってきていることは大きな強みではないかと思う。今後の評価委員会の中で議論していきたい。

（委員）

- 科学研究費助成事業（科研費）の応募率が100%、採択率は10%ということで、外部資金のトータルが344万円だが、応募できるものを全て応募した結果だったのか、まだ外部資金を研究費として取り組む余地があるかを教えていただきたい。

⇒外部資金については科研費以外にも様々な資金があるので、各教員に依頼をしているが、その応募率については把握していない。

科研費の採択率の平均は 30%で、本学の平成 30 年度の採択率は 10%なので、採択率の向上に向けて取り組んでいきたい。

(委員)

- 科研費の平均的な採択率は低いが、ノウハウが分かるようになれば、採択率も上がっていく。また、自治体からの研究依頼の委託費もあるので、それを上手く取り組んでいくと良いのではないかと思う。この外部資金には、北近畿地域連携センターが獲得した委託費も含まれているのか。

⇒平成 30 年度に受けた自治体からの受託研究費は 2 件 1, 163, 660 円であった。このうち北近畿地域連携センターが獲得したものはなかった。

(委員)

- 商売ではないのでどんどん増やせということではないが、文部科学省ではアクティブラーニングや PBL の方向性がかなり強く出ているので、実際に自治体が調査の委託を出して、教員と学生と一緒に調査する話がマッチングすると外部資金が膨らむと思うが、どのように考えるか。

⇒その通りだが、来年度にできる情報学部と既存学部が協働して地域社会の要望に応える活動を来年度から始める予定なので、情報学部ができることによって新しいレベルの外部資金の獲得ができる見通しを持っている。

(委員)

- 私の経験でも京都府立大学で、情報学の先生と一緒に城陽市のプロジェクトをやった時に、私達は政策的な側面で調査をし、彼らは私達が調査したことを数値化して、成果品に仕立て上げていくという能力を持っていた。そういうことにお金をつけてくれる自治体もこれから出てくると思う。

(委員)

- **小項目 43**

京都府や近隣市町と包括連携協定を結んでいるが、連携するメリットや意味合いを教えていただきたい。

⇒授業や実習等のフィールドワークの受け入れや、各市町の企業に来ていただき、本学の就職指導についての支援、インターンシップの実施をしている。

今年度には連携先の朝来市・丹波市・福知山市と京都産業大学・龍谷大学・本学と関係人口の創出に係る総務省のプログラムの採択を受けて、実施する予定もある。

(委員)

- 地域の生徒が入学してくれないのは、この地域では 18 歳になったら進学や就職で都会に出て行くという意識がベースとしてある地域性なのではないかと思う。この意識を変えていくには時間がかかるように思う。

- 昨年、福知山公立大学の学生と話をすることがあり、大学卒業後の話になった。その時に、福知山と同じ規模の地域から来ており、地元に戻って大学で学んだことを還元したいという学生の姿が見えた。
- **小項目 22・25**
Webサイト上の検索機能ができていないということだが、最近の学生はインターネットに対するスキルが高く、来年度は情報学部が開設されるので、色々な情報をWebサイト上で検索できるのは最低条件でないかと思う。ぜひ、学生支援を。
- 福知山公立大学に頑張りたい、バックアップしたいという気持ちを持っている人が大勢いるので、メディア戦略もぜひ頑張りたい。

(委員)

- 他府県の大学が三たん地域の受験生をターゲットにしており、福知山公立大学はライバル視されている。
- 報告書の中で、シラバスのチェックについて書かれていたが、シラバスを数十科目見せていただいた。よくできているが、「評価基準」のところが一番できていなかった。「評価基準」を明確に持つことで「内部の質保障」に繋がっていくので、新学部ができる前に福知山公立大学スタンダードを確立していただきたいと思う。

(委員)

- 学生が色々なところでいきいきと活躍されていて、すごい人材育成をしているという感想を持っている。これからも継続的に実施していただきたい。
- 地域連携は言い出したらキリがないくらい様々なことをやっている。ここまできちんとやっていくのは先生方も大変だが、事務局も先生方に協力して、様々な連携体制をとられていると推察する。しかし、働きすぎになっていないかをチェックしたいと思う。
- 項目が整理された代わりに、評価が控えめになっている印象を受ける。もっと大学が胸を張っていいところがたくさんあるので、委員の皆さんと議論していきたい。
- 6ページ コンプライアンスに関する研修は、教職員全部でやったのか、中身は。
⇒「小項目 97」以降がコンプライアンス関係に当たっていて、ハラスメント、研究費不正防止に関する研修、研究倫理に関する研修を行っている。基本的に教職員全員でやっている。

小項目 34

- 防災・危機管理に対する研究体制のあり方について、書いてあるが、研究体制というのはどういうことか？
⇒地域経営学部を設立した時に、危機管理に関する組織を検証して、設置するという中期目標があり、当初はそのような研究を目的にしていたところだが、専任の教員に危機管理の教員がないのに年度計画を立てるのがそもそも良かったのか。現状は、福知山市の危機管理のアドバイザーの方を今年度から招いて、御指導いただきながら進めている。
本学の立ち上げ時に、附属施設として防災センターを設置することが学則に書いて

あり、それができていない。今年度は準備室を作る目標を立て、今年度中には作る予定である。それを踏まえ、情報学部ができた時には、情報学部の先生の協力を得て、福知山市とも協力しながら本学の防災センターを立ち上げる予定である。

(青山委員長)

評価をする中で、質問があれば質問表をお送りいただいて、評価していただくということで御願いたい。今の意見交換を踏まえて、7月11日(木)までに評価結果を事務局までにお送りいただいて、それを踏まえて、7月25日(木)に評価委員会としての評価案としてまとめたいと思う。

(5) 報告事項(1):平成30年度公立大学法人福知山公立大学財務諸表等について 福知山公立大学ヒアリング(⇒は大学回答)

(青山委員長)

ただいまから福知山公立大学へのヒアリングを開始する。
まずは、大学より財務諸表について、概要説明をお願いしたい。

大学より【資料12】【資料13】より概要説明

(委員)

- 厳しい状況だが、情報学部ができれば変わっていくと思うので、期待したい。

(委員)

- 資料12の財務諸表の17ページに一般管理費の明細があり、旅費交通費359万円は学生募集が主な支出になると思うが、どの程度学生募集に経費がかかっているのかを教えてください。

⇒平成30年度からは、情報学部の分も含めているので、例年からすると増額している部分もある。地域経営学部だけでは、予算規模で3000万円程度、各種募集媒体の費用も含めて計上している。新学部としては新学部の設置経費も含めて別途1500万円程度計上している。

旅費については300万円のうち100万円程度が一般的な事務、高校訪問等の経費は200万円程度となっている。

(青山委員長)

8月9日(金)の第3回評価委員会でも時間があるということなので、その時にまた意見・質問等々を伺いたいと思う。

(6) 報告事項(2):公立大学法人福知山公立大学役員報酬額の変更について (⇒は事務局回答)

(青山委員長)

地方独立行政法人法第49条第2項に基づき、通知を受けた「公立大学法人福知山公立大学の役員に対する報酬等の支給基準について」社会一般情勢に適合したものであるかどうかについて、設立団体の長である福知山市長に対し、意見を申し出ることができる。事務局からの説明も踏まえ、委員の皆さまから意見を頂戴したい。

事務局より【資料14】【資料15】【資料16】【資料17】より概要説明

(委員)

- 金額は従前と比べたら大きく上がったように思うが、他の比較からすると妥当ではないかと思う。

(委員)

- 変更後の金額を上限として実際は理事長が決められるということで、実際は低い場合もあるのか。
- 今の理事長・副学長のご活躍からすると低いのが率直な感想。長い目で将来を考えた時にどういう方が理事長になるか分からない中で、大学内で適切に判断していただきたい。

(委員)

- これまでの報酬額が正直、低すぎる。
- 市が設置している大学の役員報酬が極端に低過ぎるのは、福知山市として不名誉ではないか。
- 「上限として」がよく分からない。実際にどのような報酬を支払われるのか煮え切らない部分がある。

(委員)

- 「上限として」は前の報酬額の規程にも入っていたか。
⇒入っていなかった。

(委員)

- 今回、「上限として」の言葉が入った理由は。
⇒必ずしも「上限として」の言葉が入ることが珍しくないと聞いているが、この支給額を基本としていただいて、時々経営状況に応じて理事長が判断すると伺っている。

(委員)

- 資料14の④に期末手当があるが、年収ベースで見た時にまだ差があるのではないかと気になるので、他の法人も賞与にあたるところが同じ水準なのか情報をいただきたい。

(青山委員長)

- 年収ベースでチェックをするのが妥当だと思うので、年収ベースの比較をする資料を次回いただき、次回の委員会の際に意見を具申するかを決めたいと思う。

6 その他
特になし

7 閉会

以上